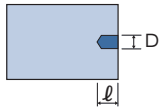




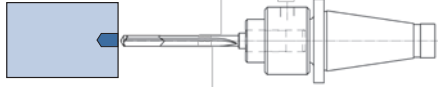
マシニングセンタにおけるガンドリル加工手順

1.パイロットホール加工



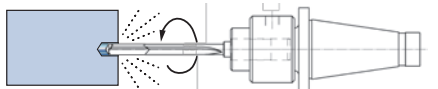
パイロットホール径 ϕD の穴径公差および深さについては、下記の表を参考にして加工を行ってください。

2.ガンドリルを挿入



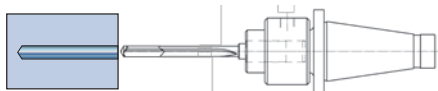
ガンドリルは回転させずにワーク上面まで接近させてください。その後、ガンドリルを 100min^{-1} で回転させながら、パイロットホール底部の数 mm 手前まで、送り速度 $F=200 \sim 300\text{mm/min}$ 程度で進入してください。パイロットホール底部の数 mm 手前で送りを停止してください。

3.ガンドリル回転開始→穴あけ開始



次に、クーラントを供給し、ガンドリルを回転させ切削送りを開始します。加工開始から $L/D=1 \sim 2$ の深さまでは、切削送り速度を通常の $50 \sim 70\%$ に抑えて加工を行い、その後は 100% の切削送りで行ってください。

4.穴あけ終了→回転停止→引き抜き



指定された深さまで達したら、切削送りを停止し、ガンドリルの回転も停止させてください。その後、早送りでガンドリルをワーク上面まで引き抜いたのち、クーラントを停止してください。

※ $L/D=40$ を超える深さを加工する場合は、まず $L/D=40$ まで加工を行い、その後、刃径が -0.02mm 小さいガンドリルを使用して、残りの深さを加工してください。なお、 -0.02mm 小さいガンドリルは、最初にあけた穴に手作業で挿入してください。

パイロットホール(ドリルブッシュ)の推奨穴径公差と推奨深さ

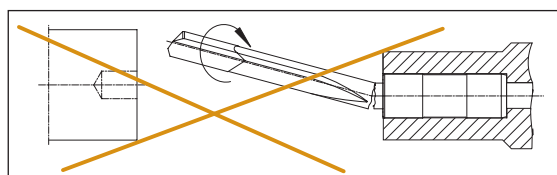
Type113

刃径	パイロットホール 穴径公差	加工深さに対するパイロットホール深さ				
		加工深さ	刃径に対するパイロットホール深さ			
			φ 0.500-1.599	φ 1.600-3.999	φ 4.000-6.999	φ 7.000-12.000
0.500mm-4.000mm	+0.005～+0.010	20xD	3.0xD	2.0xD	2.0xD	2.5xD
4.001mm-12.000mm	+0.010～+0.020	30xD		3.0xD	3.0xD	3.5xD
		40xD		4.0xD	4.0xD	40mm
		50xD	6.0xD	6.0xD	35mm	
		60xD		30mm		
		>60D				

Type110

刃径	パイロットホール 穴径公差	加工深さに対するパイロットホール深さ							
		加工深さ	刃径に対するパイロットホール深さ						
			φ1.850- 4.000	φ4.001- 8.500	φ8.501- 12.000	φ12.001- 20.999	φ21.000- 30.999	φ31.000- 40.999	φ41.000-
1.850mm-4.000mm	+0.005～+0.010	10xD	2.0xD	1.0xD	1.0xD	1xD	1xD	1xD	
4.001mm-12.000mm	+0.010～+0.020	20xD	3.0xD	1.5xD	1.5xD				
12.001mm-50.000mm	+0.015～+0.040	25xD	4.0xD	2.0xD	2.0xD				
		30xD	6.0xD	3.0xD	3.0xD				
		35xD	30mm	35mm					
		40xD							

注意事項



ガンドリルは1枚刃構造のため、センターが出ていません。パイロットホールに挿入するまでは、決して回転させないでください。パイロットホールが推奨径より小さい場合、刃先のチッピングや工具の破損につながる恐れがあります。パイロットホールの径は定期的に確認してください。推奨される切削液の優先順位は次の通りです：不水溶性 > 水溶性エマルジョン > 水溶性ソリュブル水溶性切削液を使用される場合は、希釈倍率 $10 \sim 12\%$ でご使用ください。被削材質によっては、極圧添加剤（※注意1）の使用を推奨します。

※注意1：極圧添加剤を添加することで、工具寿命の向上やガイドパッド部の溶着や焼き付き防止が期待できますが、機械部品の一部が腐食する可能性があります。使用前に、必ず機械メーカーへご相談ください。極圧添加剤の選定については、現在ご使用中の切削液のメーカーにご確認ください。